



五中だより

自分には
何ができるか

第12号(3月)

令和4年3月16日(水)

調布市立第五中学校

校長 小坂 力

全てを糧に

いよいよ学年末が近付いてきました。子供たちは、最後のまとめの学習をしているところです。

18日(金)はいよいよ卒業式です。今年度は、コロナの影響で時間が短縮されたり、在校生は2年生のみの参加(1年生はオンライン参加)になったりと縮小された形での式になります。また、保護者の方々は2名のみで来賓は御遠慮いただくことになりました。大変申し訳なく、心苦しく思っていますが、御理解・御協力いただくことに感謝申し上げます。ぜひ、温かい卒業式を挙げてほしいと思っています。

さて、3月の全校朝礼で以下の話をしました。

ある調査によると、小学生の悩みと中学生の悩みは違うことが示されています。ちなみに、中学生の悩みベスト5は1位:いじめ 2位:人間関係 3位:やせたい・背が低い 4位:勉強 5位:顔にコンプレックスがある だそうです。悩みは年代によって変化します。高校生と大人の悩みも違うものだし、人それぞれ悩みは違うものかと思います。

そこで、カーリング選手で平昌で銅メダル、北京で銀メダルを獲得した藤沢五月選手は「苦しめられた経験は、これから必ず生きる」と言っています。

さて、今年度1年間振り返ってみて、あなたは何に悩み何が苦しかったですか。悩み苦しんだことはその分だけ必ず生きていきます。「全てが糧になる」と言うことです。楽しいことばかりだったわけではないかもしれません。苦しいこともあったでしょう。全てを糧にして、いい卒業式・いい修了式を迎えるための、いい準備をしていきましょう。

3年生 ありがとう そしておめでとう

18日(金)に第53回卒業式が行われます。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、義務教育からのご卒業、おめでとうございます。入学されてから1年後にコロナ禍となり、今までの状況とは違う学校生活、日々の生活が始まりました。当たり前でない日々の中で、今までにない苦勞がたくさんありました。そんな中でも、お互いに助け合い、思いやり、日々成長していきました。

どんな時もあきらめず、前向きに取り組む3年生の姿は、下級生にとって見本でもあり、たくさんの勇気をもたらしました。最後の体育大会での3年生の素晴らしい姿には心から感動しました。10月に延期となった修学旅行でも落ち着いて思い出溢れる3日間を送りました。そして10月27日に行われた合唱コンクール。3年生の歌声は感動の嵐を呼び、一生忘れることのない1日となりました。

受験もコロナ対応があり、日々大変なこともたくさんありました。学年全体で乗り越え、卒業式を迎えます。1年生2年生にとって大きな存在であった3年生の卒業は本当に寂しいものです。でも今までの卒業生が、そして3年生が培ってきた五中を1年生2年生で引き継いでいきます。

3年生、本当にありがとうございました。素晴らしい門出を、そしてこれからのお一人お一人の輝ける未来を祈り、お礼の言葉とさせていただきます。いつまでも五中は皆さんを応援しております。すてきな青春の日々をお送りください。どんなことがあってもくじけず、立ち上がり、前へ進んでください。

がんばれ!! 3年生!

3年間の歩み

1年生になりました！

- 令和元年（2019）4月 入学
5月 体育大会
9月 生徒会役員選挙
10月 合唱コンクール（調布グリーンホール）
令和2年（2020）1月 スキー教室（木島平スキー場 パノラマランド木島平宿泊）
3月 1日～緊急事態宣言により休校
修了式

2年生に進級しました！中堅学年としての活躍

- 4月 始業式（2年生に進級しました）
6月まで休校、分散登校
6月 分散登校始
8月 夏休み開始
9月 体育大会
令和3年（2021）2月 校外学習（都内巡り）
3月 合唱成果発表会（体育館）
修了式

3年生に進級しました！最高学年です！

- 4月 始業式（最高学年3年生に進級しました）
5月 体育大会
10月 修学旅行（京都・奈良方面）
10月 合唱コンクール（調布グリーンホール）
11月 進路面談
令和4年（2022）1月 私立推薦入試 都立推薦入試
2月 私立一般入試 都立一般入試
3月 学習成果発表会
卒業式

3年生から歌詞を募集し、
音楽科山崎先生と
作った卒業式の曲です♪

ここから

出会いの季節に始まった日々

まだあどけない声で彩られた世界

僕らならなんでも叶えられると

思うままに描いていた

掠れていく毎日に 何も掴めなくて

いつの間にか 時は流れ

旅立つ日に 春の風が吹く

あなたの言葉に 涙あふれて

閉ざした心の中に 光が射しこむ

少しずつ 扉がひらきはじめる

それぞれの明日を信じて

指でなぞる未来へ ここから羽ばたこう

過ぎた日を忘れないで

生きていこう 未来へ進もう

またいつか その声を聴かせて

追い風に乗せて

ここで会おう その日まで